

3mm × 3mm DFN に出力電圧モニタと IGBT ドライバを搭載 高効率フォトフラッシュ・コンデンサ・チャージャ

2005 年 12 月 2 日、リニアテクノロジーは、完全なフォトフラッシュ・コンデンサ・チャージャと IGBT ドライブを搭載したフォトフラッシュ・コンデンサ・チャージャ・デバイス LT3485 ファミリの販売を開始しました。

LT3485 は特許取得の制御技術により、極めて小型の「標準化された」トランスを使用できます。出力電圧を設定するための外付け回路は不要です。充電中、コンデンサ電圧に比例した出力が供給され、モニタできます。入力電流が高精度で制御されるので、充電時間が常に一定になります。

これらのデバイスは 1.8V～10V の入力電圧で動作するので、2 セル AA アルカリ・バッテリー、1 セル・リチウムイオンまたは複数セル・バッテリーで駆動されるアプリケーションに最適です。LT3485-3、-0、-2、-1 の 1 次電流制限はそれぞれ 2A、1.4A、1A、0.7A なので、平均入力電流をそれぞれ 700mA、500mA、350mA、225mA に厳密に制御できます。これらの 4 つのバージョンは他の点ではすべて同じです。

CHARGE ピンにより、ユーザはこのデバイスを完全に制御できます。CHARGE ピンを“Low”にすると、デバイスはマイクロパワーのシャットダウン状態になります。DONE ピンはデバイスが充電を完了したことを知らせます。LT3485 シリーズは高さの低い小型の 3mm × 3mm DFN パッケージで供給されるので、75mm² のソリューション実装面積が可能です。

LT3485-0、-1、-2、-3 は 3mm × 3mm DFN パッケージで供給されます。いずれのデバイスも 1000 個時の参考単価は 267 円(税込み)からです。

LT3485-0、-1、-2、-3 の特長

- IGBT ドライバを搭載
- 電圧出力モニタ
- 5.8mm × 5.8mm × 3mm 小型トランスを使用
- 2 つの AA バッテリ、1 セル・リチウムイオン・バッテリーなど 1.8V～10V のあらゆる電源で動作
- 出力電圧分割器が不要
- 外付けショットキー・ダイオードが不要
- あらゆるサイズのフォトフラッシュ・コンデンサを充電
- 10 ピン(3mm × 3mm) DFN パッケージ

以上